

1 地下埋設配管の腐食による灯油の流出事故

1 発生年月

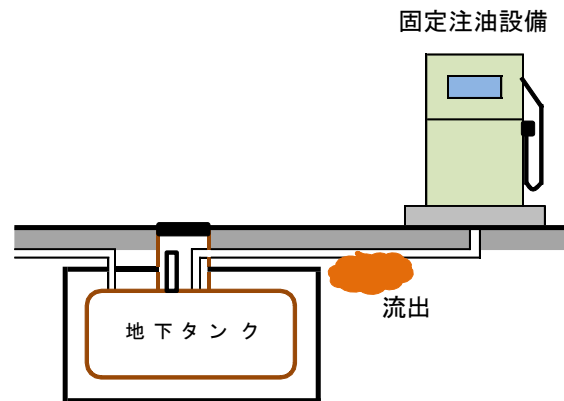
平成22年1月

2 施設区分

給油取扱所

3 物質区分

第4類第2石油類（灯油）



4 事故概要

給油取扱所脇の水路に油が浮いているのを従業員が発見した。原因究明のため配管の気密試験を実施したところ、灯油用の地下貯蔵タンクから固定注油設備に至る地下埋設配管に漏れがあったことが確認された。

5 事故原因

地下埋設配管の長期間の使用に伴う腐食劣化により孔が開き灯油が流出した。（流出部位の使用年数：約30年間）

6 対策

- ・ 定期点検（配管の漏れの点検）を徹底する。
- ・ 危険物の在庫確認、漏えい検査管による確認等の日常点検を徹底する。

<関連する保安教育資料>

- ・ 「8 埋設部分の漏えい事故対策」（平成20年5月発行）
- ・ 「3 1 腐食について（1）」（平成22年5月発行）
- ・ 「3 2 腐食について（2）」（平成22年6月発行）
- ・ 「4 3 日常点検の実施について（2）」（平成23年5月発行）